

## 坂井郡金津町のハッチョウトンボ

長 田 勝

昨年8月中旬、足羽小学校の林幸子先生より電話があり、「細呂木駅の近くで三田先生が赤い小さなトンボを採りました」とのこと。話によれば8月10日にサギソウを見に行った際、偶然採集されたようだ。サギソウがはえている場所は湿地だし、そこで採れた小さいトンボといえば、まずハッチョウトンボだろうと予想した。数日後、標本が届き、検したところ、やはりハッチョウトンボの♂であった。生息地がどんな所か興味があったので林先生に詳しい地図を書いて頂き、福井むしの会の下野谷豊一、三上秀彦の両氏と共に現地へ向かったのは8月31日であった。

生息地は国鉄細呂木駅北方の水田地帯の片隅に残る狭い湿地で、以前は田んぼだったらしい。こんな場所にハッチョウトンボがいるのだろうか、それに時期も遅いような気がするし……。3人は同じ思いをしながら湿地を慎重に歩いたが、目ざすトンボの姿は見つからない。朝早かったせいもあり、つゆで靴がびしょぬれなので、この湿地を離れ、似たような環境を探してみたが、どこも水田となっており、たまに湿地があっても草がおいしげって、お世辞にも良い所とはいえない。帰りにもう1度、最初の湿地で探してみようということになり、半ばあきらめながら、それでも目を皿のようにしてゆっくり歩いた。三上君と私が先に行き、「どうもいそうもないな」。そうつぶやきかけた時、後ろを歩いていた下野谷氏が「採った!」と大声をあげ、見ると彼のネットの中にはまちがいなく、あの小さなハッチョウトンボがはいっていた。この個体も♂であった。これに元気づけられて、しばらく探してみたが、狭い湿地をやたらに歩くと植物を痛めることにもなるので、一応、生息を再確認したということで帰途についた。

さて、細呂木駅周辺は確かに湿地が多い所だが、水田と隣りあわせの場所にハッチョウトンボが生息していたことは意外という印象を受ける。しかもこの生息地は、以前は水田だったようで、この場所が耕作されていた頃は、一体どこに住んでいたのだろうか? ハッチョウトンボはほとんど移動しないから、他の地域から飛来したとは考えにくい。おそらく昔はこの一帯は広い湿地だったと思われる。そして、そこにいたハッチョウトンボは水田耕作などの人間の手加わるとともに、わずかずつ生息場所を変えて今日に至ったのであろう。今後、各所に点在する湿地を丹念に調べたら、ほかにも新しい生息地が発見できるような気がする。

### (採集記録)

1975. Aug. 10 1♂ 坂井郡金津町指 三田治家氏採集

(標本は博物館に保管)

1975. Aug. 31 1♂ 同 下野谷豊一氏採集

(標本は下野谷氏保管)

福井市立郷土自然科学博物館

学芸員